



Interview

今回はTRYWARP代表の虎岩雅明さんにお話をうかがいました。

— どうしてTRYWARPの活動を始めようと思ったのですか？

大学入学で親元を離れてきた大学生が、大学と自分のアパートとを往復するだけの生活でなく、もっと地域の中に溶込んでいけたらと思いました。地域の方々と交流を持ち、コミュニケーションを深めていく中で、大学4年間を過ごすこの千葉のまちが「第2のふるさと」だと思えるようになって欲しい。まちを歩いていて、学生と住民とが「こんにちは！」と気軽に声を掛けあえるような関係が生まれたらいいな、そんな想いをもっています。パソコン教室がきっかけとなって、大学生と地域の方々との関係が深まっていくことを願っています。

— 活動をしていくなかで、どんな課題がありますか？

日本人には、教えたりサポートしたりという「行為」に対してお金を払うという意識が根付いていないようです。ものはお金で買ってくれるけど、形に残らないことに対してお金を払おうとは、なかなか思わない。その辺が難しいところです。でも、難しい課題だからこそ、解決していく楽しさがあると思っています。

— 参加者の反応はどうですか？

好評をいただいています。「大学生だと、気軽に声をかけられる」、「『大学生と話しちゃった！』と一週間位話題になる」そんな声が届きます。地域の方にとって、大学がもっと身近な存在になっていくといいですね。

千葉大パソコンサポーターズ
TRYWARP(トライワープ)

「TRYWARP(トライワープ)」は、千葉大の学生たちが作ったNPO法人です。TRYWARPの活動の1つとして、初心者向けのパソコン教室があります。学生が先生になり、地域の方々を対象に楽しくパソコンを学ぶ講習会を開いています。それだけでなく、パソコン相談会や、電気屋さんと一緒に相談にのりながらデジカメやパソコン選びの手助けをする購入ツアー、トラブルがあった時の出張サポートサービスも行っており、どんな小さなことでも親切丁寧にサポートを行っています。

また、「街をワクワクさせる活動」を選考・表彰している「ワクワクタウン大作戦2003」(モスフードサービス主催)において、TRYWARPは入賞を果たしました。パソコン講習会の趣旨を「パソコンブックス解消大作戦」と題して応募し、その活動内容が評価されたのです。パソコン教室がきっかけとなり、人と人との間に素敵な関係性が生まれるまちへとつながっていく。これからも、どんな活動を展開していくのか、注目大な存在です。



参加したい人は...

TRYWARPでは、パソコン講習会の受講者を募集しています！
(詳しくは、P34下段の記事を御覧ください)
お問合せダイヤル：090-2247-2768
電話受付時間：(火曜～金曜)10時～16時まで
<http://trywarp.com/>



特集 夏の風物詩
千葉飲食 ラーメン店
医を考える

表紙モデル：戸塚隼人くん